

取扱説明書



バッテリー噴霧機

GS10B

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買いあげいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、安全で快適な作業を行っていただくために、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮出来るようにこの冊子をご活用ください。

お読みになったあと必ず大切に保管し、本製品を末永く使用できますようにご活用ください。なお、より良い製品をご提供するために製品と本書の内容が一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

また、安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい安全のポイントを抜粋した「安全作業説明書」を別冊に同梱しておりますので、合わせてご活用ください。

本製品についてお気づきの点がございましたら最寄りの取扱店、または当社の営業所にお問い合わせください。

- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 紛失した場合は最寄りの取扱店、または当社営業所にてお買い求めください。
- 本製品を改造することは、安全で快適な作業に支障をきたすだけでなく、大変危険ですのでおやめください。

■注意事項について

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

k d …もし警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになる状態。

k w …その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性があるもの。

k c …その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。

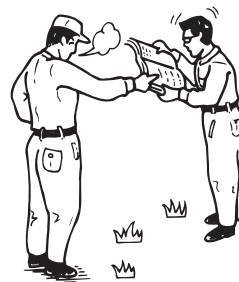
c …その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性のあるもの。

■機械を他人に貸すとき、運転させるとき

事前に運転の仕方を教え、機械に貼ってあるk(安全注意マーク)印の付いている警告ラベルも一枚ずつ説明してあげてください。親切心が仇にならないように機械と一緒に取扱説明書・安全作業説明書を渡し、よく読んで理解し取扱方法を体得してから作業するように指導してください。

とくに禁止事項については念を入れて説明してください。家族も同じことです。

自分が使用するつもりで！



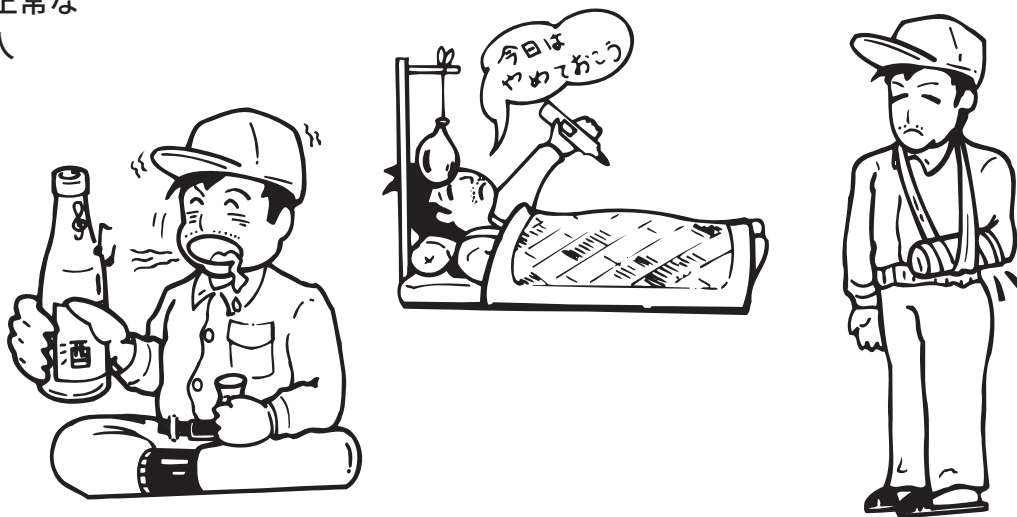
	ページ
1. K 安全に作業するために	2
作業前の注意	2
ご使用する時の注意	3
ご使用後の注意	4
2. 各部のなまえと操作部のはたらき	5
標準付属品のご確認	5
各部のなまえ	5
K 警告ラベル	6
操作部のはたらき	6
3. 取扱い及び操作のしかた	7
ノズルの組立	7
肩掛バンドの組付け	7
背負バンドの組付け	7
ホースホルダの組付け	8
大容量バッテリーの取付	8
始業点検	9
バッテリー容量の確認のしかた	9
薬剤の調合	10
・調合カップの使用法	10
始動と停止	10
4. 清掃・充電・格納について	11
清掃と水抜き	11
バッテリーの充電	12
バッテリーの取扱	13
故障診断とその処置	14
配線図	15
5. サービスについて	16
6. 仕 様	17

1. K 安全に作業するために

作業前の注意

こんな人は、散布作業してはいけません

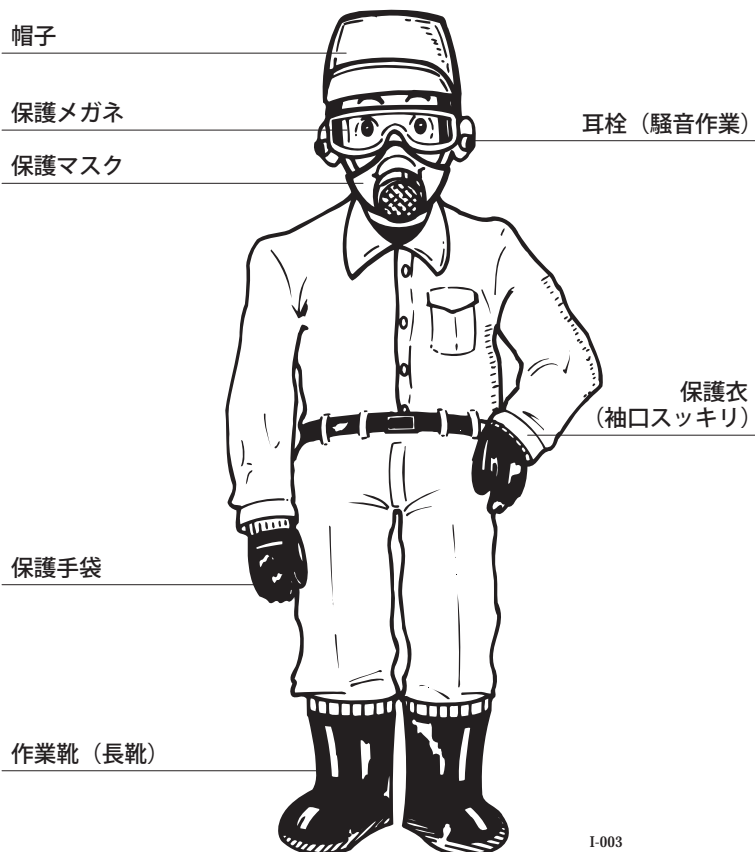
- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な散布作業ができない人
- 酒気をおびた人
- 妊娠している人
- 散布作業以外



I-002

作業に適した服装をします

身体にあったものを
着用する散布業者



I-003

保護具はつねに正常な機能を有する様、点検・整備を行い、正しく使用して下さい。

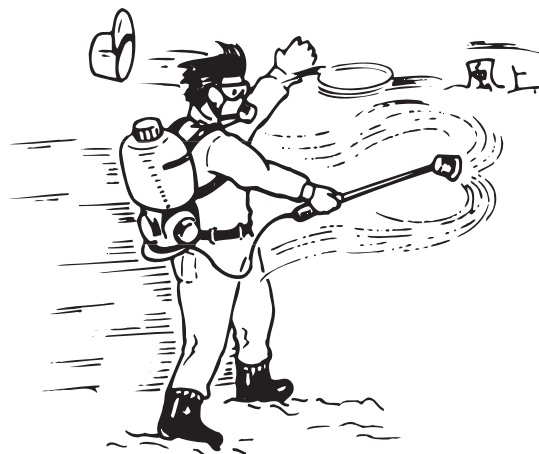
使用用途

- この製品は次のような作業にご使用頂けます。またそれ以外でのご使用は避けてください。
- 1) 一般畑作物の病害虫に対する薬液散布。
- 2) 果樹一般の病害虫に対する薬液散布。
- 3) ハウス栽培作物の病害虫に対する薬液散布。
- 4) 花栽培作物の病害虫に対する薬液散布。
- 5) 牧舎・鶏舎等への消毒液・殺虫液の散布。
- 6) 庭木・盆栽・芝生の病害虫に対する薬液散布及び散水。
- 7) 都市衛生用消毒液・殺虫液の散布。
- 8) 公園等の花壇・街路樹の病害虫に対する薬液散布。
- 9) 雑草防除に対する除草剤の散布。
- 10) 野菜・根菜の洗浄及び散水。

自動車などによる運搬時は機械が転倒しないような処置をしておきます

薬剤について

- 使用する薬剤のラベルをよく読み、使用方法、使用上の注意をよく知っておきます。反当散布量や薬剤の種類をまちがえると、薬害をおこします。
- 薬剤、安全な場所に保管し、運搬するときは、袋が切れないように気をつけます。
- 使用済みの薬剤の袋やビンは害のないように処理します。
- 薬剤の取扱いには十分注意し、万一目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流します。体調に異常を感じたら直ちに医師の診断を受けてください。
- 風向きによって散布方法を変え、作業や住宅等に影響が出ないようにしましょう。薬剤散布は風上から風下に向かって作業しましょう。また、周辺の他作物、畜舎、養魚池、住宅に漂流飛散させないよう配慮しましょう。
- ハウス内で作業するときは、換気に十分注意してください。
- 薬剤散布は風上から風下に向かって作業しましょう。風下からの作業では薬剤を浴びることになります。



ご使用後の注意

- 使用する薬剤は、薬剤タンク内に残さないように散布してください。
- 薬剤タンクに残った薬剤は、きれいに取り去り、元の容器に入れて幼児の手のとどかない所に保管してください。機械についた薬剤などもきれいに取り去ってください。発錆や故障の原因になります。
- 損傷個所のある場合は、修理してから格納して下さい。この場合、部品、消耗品はすべて当社指定の純正部品をご使用ください。
- 保管は湿気の少ない場所に、チリやゴミが付着しないようにしてください。
- ご使用後は必ず充電してください。充電しないとバッテリー性能劣化の原因となります。

2.各部のなまえと操作部のはたらき

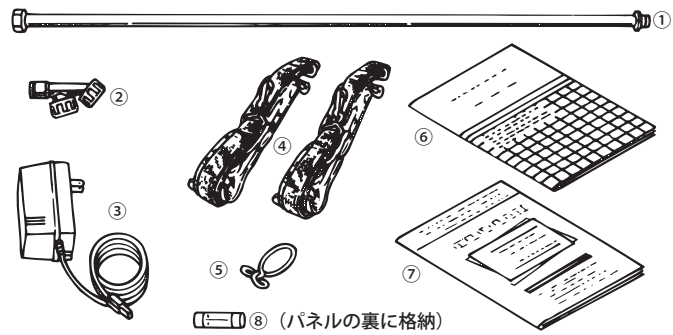
標準付属品のご確認／各部のなまえ

標準付属品のご確認

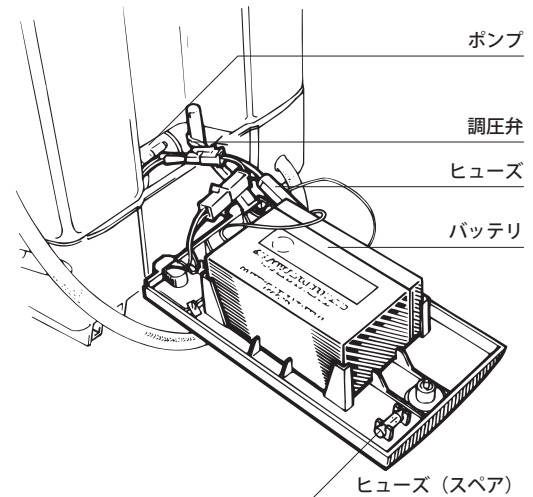
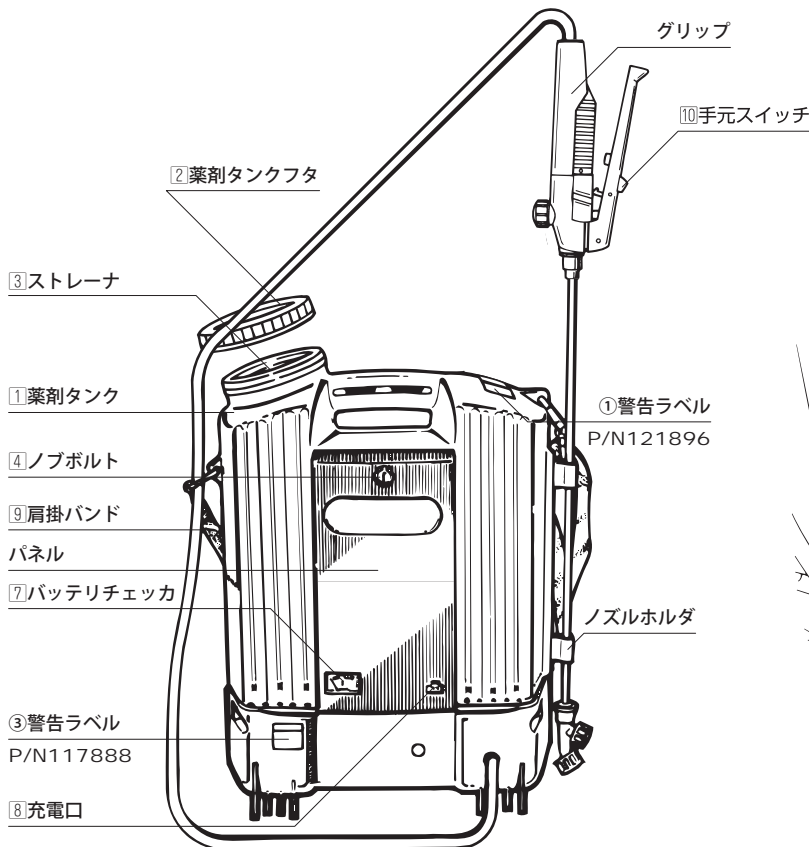
梱包箱を開けたら、まず付属品が揃っているかどうか、確認してください。万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店にお申し出ください。

付属品

No.	名 称	個 数
1	ラ ン ス	1
2	二 頭 口 ノ ズ ル	1
3	充 電 器	1
4	肩 掛 バ ン ド	2
5	ホ ー ス ホ ル ダ	1
6	取 扱 説 明 書	1
7	安 全 作 業 説 明 書	1
8	ヒ ュ ー ズ	1



各部のなまえ



警告ラベル／操作部のはたらき

警告ラベル

- いつも汚れや泥をとり、表示内容がハッキリと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したときは、新しい物と交換してください。
- 警告ラベルを貼ってある部品を交換した時は、必ず新しい警告ラベルを取外した部品と同じ場所に貼ってください。

①

注意

運転前に、必ず、取扱説明書を読んで、よく理解してから運転して下さい。

フタは確実にしめること。薬剤が吹き出しあびる恐れがあります。

P/N 121896

②バッテリー

危険

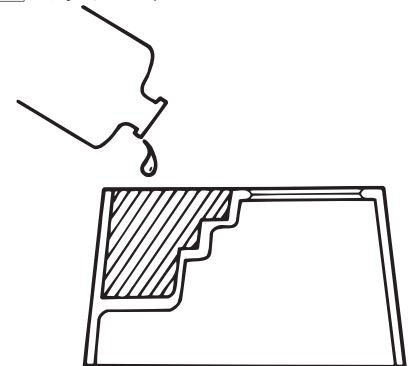
バッテリー及び配線はショートさせないこと。引火爆発する恐れがあります。

P/N 117888

操作部のはたらき

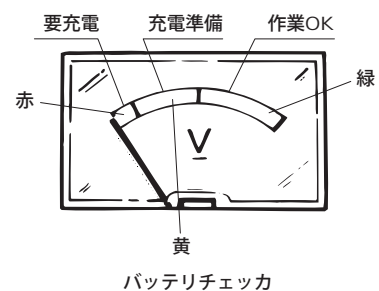
- ①薬剤タンク
薬液が10ℓ入ります。
- ②薬剤タンクフタ
- ③ストレーナ
薬液の異物を取り除きます。1000倍、1500倍、2000倍の調量カップが付いています。
- ④ノブボルト
外すとパネルが外れます。
- ⑤ポンプ
- ⑥調圧弁
- ⑦バッテリーチェッカ
スイッチをONにするとメータが動き、バッテリーの充電容量を指示します。
- ⑧充電口
付属の充電器の充電用プラグを差し込むと充電できます。
- ⑨肩掛バンド
- ⑩バッテリー
- ⑪ヒューズ
7Aのヒューズが入っています。過大電流からモータを守ります。

③ストレーナ



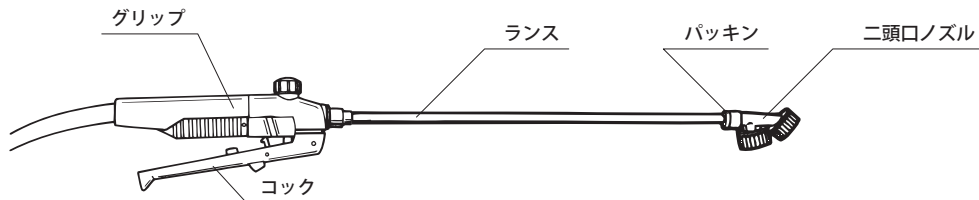
1000倍 (約10cc)

⑦バッテリーチェッカ



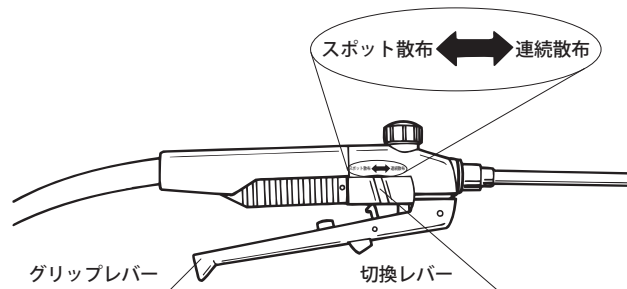
ノズルの組立

パッキンが付いていることを確認してから、グリップにコック・ランス、ランスに二頭口ノズルを確実に締め込みます。その時、水もれのないようパッキンを確認してから確実にネジを締めてください。あまり強く締めるとパッキンがはみ出したり破れたりするので、確実に締めてください。



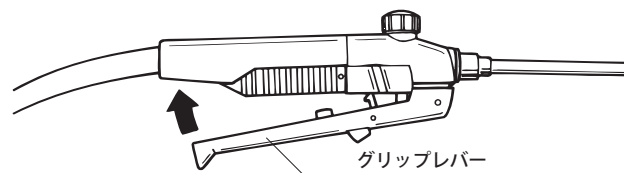
グリップ操作

- グリップレバーを握るとスイッチON、バルブ開となり散布作業ができます。
- グリップレバーを放すとスイッチOFF、バルブ閉となり散布作業が停止できます。
- 切換レバーをスライドさせることにより連続散布とスポット散布の選択ができます。

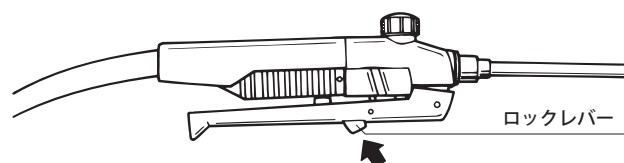


(1) 切換レバーが連続散布位置のとき、

- グリップレバーを握るとグリップレバーが固定され、連続した散布作業ができます。



- ロックレバーを押すとグリップレバーの固定が解除され、散布作業が停止できます。

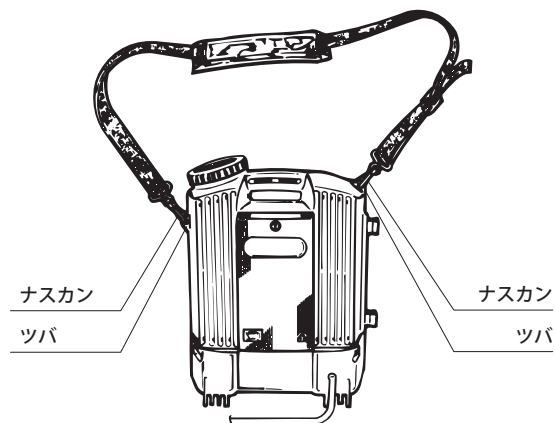


(2) 切換レバーがスポット散布位置のとき、

- グリップを握ると散布作業ができます。
- グリップを放すと散布作業が停止できます。

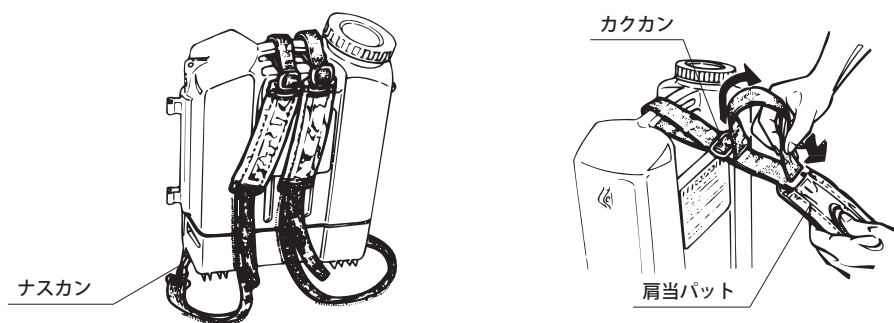
肩掛バンドの組付け

肩掛バンド両端のナスカンを図のようにタンク両側のツバに取り付けます。



背負バンドの組付け

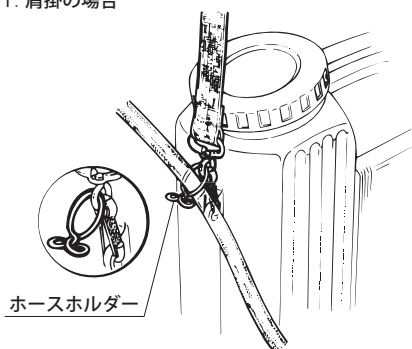
背負式で使用する場合、肩掛バンドのナスカンをそれぞれ1個ずつ取りはずして、右図のように取り付けます。



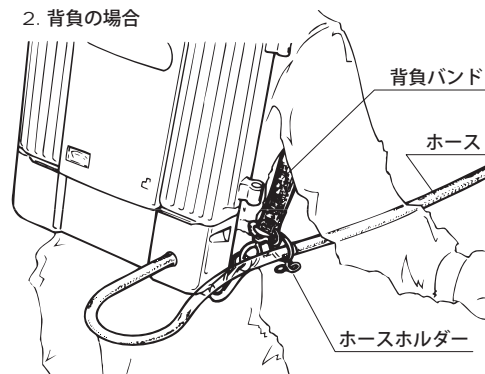
ホースホルダーの組付け

ホースホルダーを使用しますと、ホースの取り回しが楽になります。

1. 肩掛の場合



2. 背負の場合

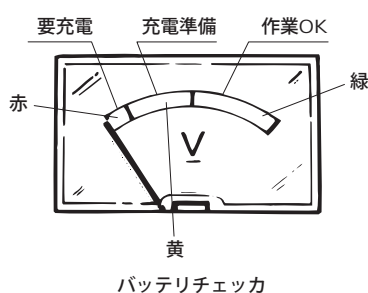


始業点検

- 本機はそのまま付属品を装着するだけで噴霧機として使用できるようになっています。
- 各部のネジにゆるみがないか点検します。
- 肩掛バンド又は、背負バンドの長さを自分の体形に合わせ、調節します。
- 警告ラベルが本体からはがれた場合は購入して貼付してください。
- 作業前日にバッテリー容量を確認し、容量不足のときは充電をしてください。

バッテリー容量の確認のしかた

1. 薬剤タンクに水を1ℓ入れてください。
2. スイッチをONにして、ポンプが吸水し、圧力が上がった状態で、バッテリーチェッカの目盛を確認してください。



緑	作業OKです。
黄・赤	必ず充電してください。

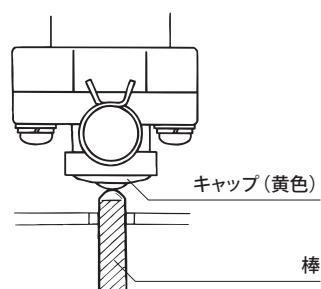
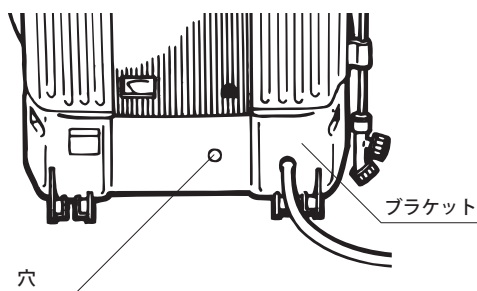
充電のしかたはP12を参照してください。

C

- 必ず薬剤タンク内に水を入れてから点検してください。ポンプが空運転となり故障の原因となります。
- 緑色の範囲内にあっても、黄色に近い場合は、充電するようにしてしてください。

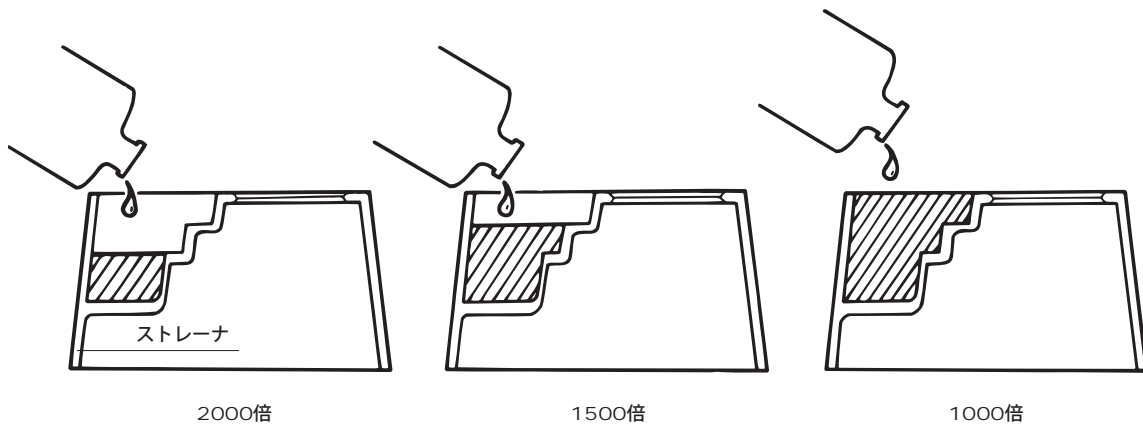
※長期保管後、ポンプが吸水しない場合、

ブラケット上の穴から、先端の丸い棒でポンプの黄色のキャップを1～2度、押してください。



調合カップの使用法

ストレーナの裏の調量カップを使用すると便利です。(目安としてご使用ください。)



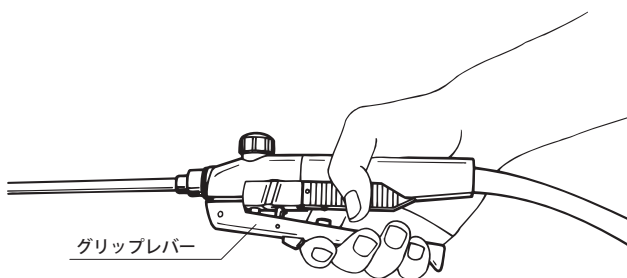
※希釈倍率は全てタンク満水が基準となっています。

C

- 水和剤等を使用する場合は、決められた倍率に調合して、あらかじめバケツ等の容器によく溶かしてください。
- タンクに薬剤を入れる時は、必ず、備え付けのストレーナを通してください。

始動

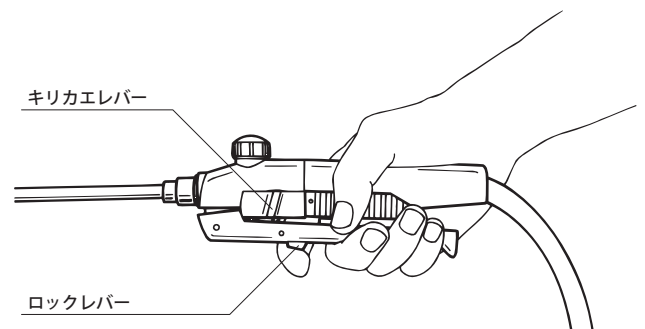
グリップレバーを握るとスイッチON、バルブ開となって、散布作業が行なえます。



停止

※操作のしかた (P7) を参照してください。

1. キリカエレバーが連続散布のとき



ロックレバーを押すとグリップレバーのロックが解除されグリップレバーが元の位置にもどり、スイッチOFF、バルブ閉となって、散布作業が停止します。

2. キリカエレバーがスポット散布のとき

握っていたグリップレバーを放すことで、スイッチOFF、バルブ閉となり、散布作業が停止します。

k c

清掃・点検及び充電のときは必ず本機を停止してください。

薬剤タンク内清掃

- 残った薬剤を回収後、清水で薬剤タンク内を清掃します。



ポンプ内の水洗い

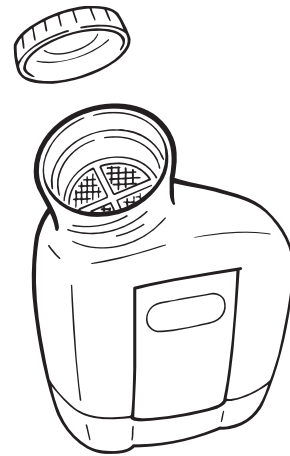
c

薬剤タンク内清掃後、再び清水を入れ、ポンプを運転して、ポンプやホース内の洗浄をします。

ポンプ内の水洗いをしない場合、ポンプ故障の原因となることがあります。

ストレーナの清掃

- ストレーナの清掃をします。



水抜き

c

水抜きは必ず行なってください。冬期凍結によりポンプを破損することがあります。

バッテリーの充電

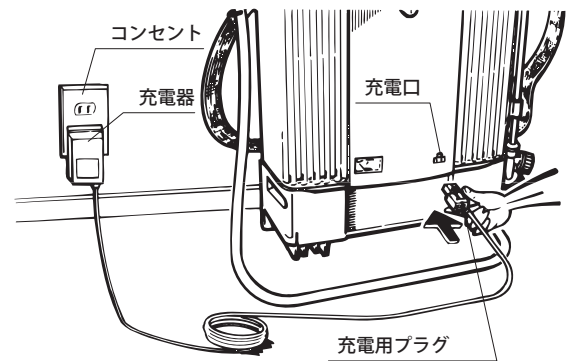
C

ご使用後は必ず充電をしてください。 **バッテリー性能劣化の原因となります。**

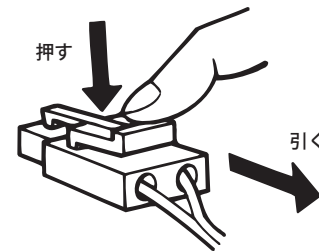
1. 付属の充電器の充電用プラグを本機パネルの充電口にしっかりと差し込んでください。
2. 充電器を100Vコンセントに接続してください。

充電時間の目安

バッテリー	12V 7.2AH
充電時間	約11時間



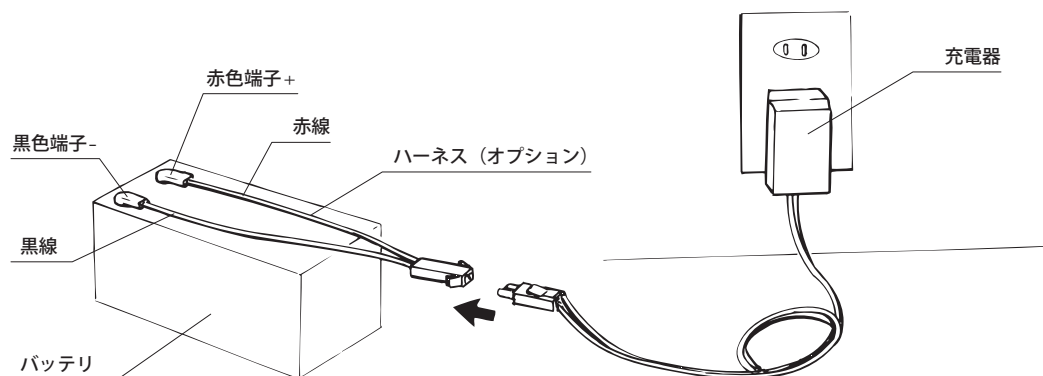
3. 充電完了後は、まずコンセントから充電器を引きはずしてください。その後、右図のようにロックをはずして充電用プラグを抜いてください。



C

- 充電中は本機を運転しないでください。ヒューズ切れの原因となります。
- 充電は必ず付属の充電器をご使用ください。
- 充電は周囲温度0～40°の範囲内で行なってください。
- 充電したままで長時間放置しないでください。過充電となりバッテリーの寿命を縮めます。

※交換したバッテリーの充電方法（バッテリーを単体で充電する場合）



ハーネス（オプション）を上図のように、バッテリー端子と色を合わせて接続し、充電器で充電してください。

 **危険**

- 電池は次のことを守らないと、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となりますので、下記のことを必ずお守りください。
 - 電池を分解、改造しないでください。
 - 電池をハンダ付けしないでください。
 - 電池の充電は、専用の充電器をご使用してください。
 - 電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。
 - 電池の+・-を金属類で接続しないでください。
 - 電池は指定された機器以外に接続しないでください。
 - 電池を充電器や機器に接続するときは+・-の向きを確かめてください。
 - 電池を電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口等に直接接続しないでください。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずに、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

 **警告**

- 電池を水や海水につけたり濡らさないでください。電池を発熱させたり、サビの原因となります。
- 外装をキズつけたりチューブをはがさないでください。電池の漏液、発熱、破裂の原因となります。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

 **注意**

- 指定の充電時間以上充電しないでください。電池を漏液、発熱させる原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 高温の場所で使用・放置しないでください。電池の漏液、性能・寿命の低下の原因となります。
- 電池は小児、乳幼児の手の届かない所に保管し、充電器や機器から取り出さないよう注意してください。

注意

- 格納時はバッテリーを満充電にします。充電量の少ない状態での長期保管は、バッテリーの寿命を著しく損ないます。
- 長期保管中は6ヶ月に一度以上、5～6時間の補充電をしてください。補充電をしない場合、バッテリーの寿命が短くなります。
- 直射日光を受ける所や、高温多湿の場所には保管しないでください。バッテリーの寿命が短くなります。

故障診断とその処置

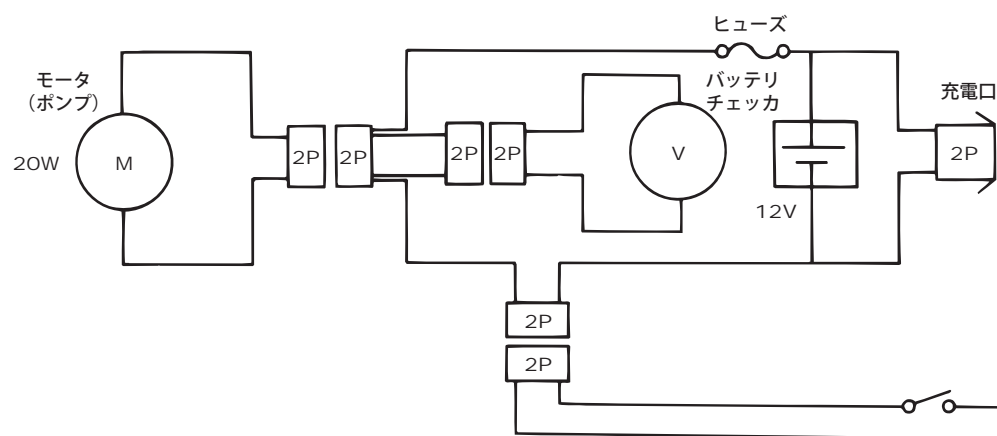
- 噴霧の異常、充電不良、ヒューズ切れの場合は次の内容が考えられます。
- ☆印についてはお求め先、または当社営業所に調整、修理を依頼してください。

噴霧が正常でない			
現 象	原 因	処 置	
モータが回らない場合	コネクタの外れ	正しく接続	
	スイッチの不良	交換	☆
	配線の断線	交換又は修正	☆
	ヒューズ切れ	交換	
	モータ断線	交換	☆
	モータ焼損	交換	☆
	バッテリーの電圧低下	充電、交換	
	ピストンパッキン固着	交換	☆
モータは回るが 噴霧しない 圧力が 上がらない	ノズルのつまり	清掃	
	吸水弁の固着	キャップ(黄色)の操作又は清掃	
	ポンプ弁のつまり	清掃	☆
	ポンプ弁のつまり	清掃	☆
	調圧弁のつまり	清掃	☆
	調圧弁の摩耗	交換	☆
	ノズルチップの摩耗	交換	☆
	吸水ホースのつまり、又はつぶれ	清掃又は修正	☆
バッテリーの電圧低下	充電		

充電不具合			
現 象	原 因	処 置	
充電しない	バッテリーの異常	交換	☆
	充電器の異常	交換	☆
	コネクタの接続不良	正しく接続	
	配線の断線	交換又は修正	☆
容量が回復しない	充電時間の不足	充電	
	バッテリーの異常	交換	☆
	充電器の異常	交換	☆

ヒューズ切れ			
現 象	原 因	処 置	
ポンプが回転しない	ピストンパッキンの固着	交換	☆
	スイッチの接触不良	スイッチ交換	☆
	充電中にスイッチをONにした	正しい操作	
	モータの回転が重い	モータ交換	☆

配線図



アフターサービスについて

- 始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、すぐに適切な整備をしてください。お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 連絡していただく内容
 - 機種名
 - 製造番号
 - 故障内容なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。
- 本製品を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、お買い上げの販売店に、点検整備をお願いしてください。この時の整備は有料となります。

補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、本製品の製造を打ちきり後9年です。但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

機体廃棄時のお願い

本機を廃棄する場合は、最寄りの取扱店又は当社の営業所にお問い合わせください。

バッテリー廃棄時のお願い

使用済みのバッテリーはそのまま廃棄せず、販売店にご相談ください。

名称	GS10B
寸法(長×幅×高)	385×165×485mm
質 量	5.5kg
タンク容量	10ℓ
ポンプ	ユニフローポンプ(差動式)
圧 力	0.35MPa(3.5kgf/cm ²)
吸 水 量	1.1ℓ/min
モ ー タ	DC
ヒ ュ ー ズ	7A
バ ッ テ リ	12V 7.2AH
連続作業時間	2.5時間
充 電 時 間	約11時間
充 電 器	過充電防止付

この仕様は予告なしに変更することがあります。

お願い

◎開梱後使用前に、バッテリーの
補充電を5～6時間してください。

工場出荷時には満充電となっておりますが、自己放電により容量が減少している場合があります。減少した状態で使用して過放電となった場合、バッテリーの寿命を縮めることがあります。取扱説明書の「バッテリーの充電」の項をご参照の上、補充電を行ってください。



株式会社 **丸山製作所**

東京都千代田区内神田3-4-15 TEL03 (3252) 2288



古紙配合率100%再生紙を使用しています

この取扱説明書の部品番号は122660

P/N. 122660-02 03.03 TAP/M